



子どもに学んだ可能性

昨年度のことです。企画委員会の6年生に次のようなお願いをされました。

「城東っ子集会で全員かくれんぼをしたいので、校長先生が鬼をしていただけませんか？」本校には、子どもたちが企画し、全校児童で楽しむ「城東っ子集会」があります。各クラスから出された案を代表委員会で話し合った結果、縦割り班ごとにかくれる全員かくれんぼをしたいというのです。

かくれるのは子どもたち、探す鬼は私たち教師です。縦割り班ごとに教室にかくれます。鬼は隠れている教室の中に入ることはできません。廊下の窓から室内を見て隠れている子どもたちを探すのです。

昨年度の集会がとても盛り上がったのでしょう。今年の「城東っ子集会」も全員かくれんぼが実施されました。

鬼役の私は、スタートの合図とともに、ゴジラのテーマソングをかけながら教室に向かいます。鬼が近づいて来る緊張感を高めたいという、ちょっとした演出です。

一つの教室に十数名の子どもたちが隠れるわけですから、すぐに見つかりそうです。しかし、なかなか見つかりません。写真の子どもたちのように、上手に場所を見つけ、息を潜めているのです。

教室の前で、少しずつボリュームを下げ、遠ざかっていったと安心させる作戦を実行しましたが、それでも子どもたちは姿を見せませんでした。

終了の放送とともに、歓声をあげながら隠れ場所から出てくる子どもたち。中には教卓の中から数名の子どもたちが出てきます。みんな汗だくです。身を寄せ合って、じっと我慢していたのでしょう。

子どもたちにとっても、私たち教師にとっても楽しい集会でした。

それにしても子どもたちは本当にすごいです。あれだけの時間、全児童がじっと隠れていられるのですから。授業でも、集会でもそんな姿を見たことがありません。本気でやりたいと思ったことについては、友達と協力し、素晴らしい集中力・エネルギーを発揮することができるのですね。

子どもたちの可能性を学んだ集会でした。

